

東京がひとつになる日。



平成 23 年 2 月 24 日  
東京マラソン財団

東京マラソン 2011 チャリティ “つなぐ”  
ニュージーランド大地震被害への救援金 緊急拠出について

一般財団法人東京マラソン財団（東京都新宿区・理事長 帖佐寛章）は、2 月 22 日にニュージーランド南島クライストチャーチにて発生した地震災害を受け、本年度より実施するチャリティによって集まった寄付金の一部を、海外支援金として緊急に拠出することを決定いたしました。

今回の救援金拠出金額は 100 万円です。日本赤十字社を通じて、ニュージーランド地震の被災者に対する救援活動の支援に充てられます。

東京マラソンにおけるチャリティ制度は、2011 年度大会よりスタートするもので、現在 7,000 万円を超える寄付金をいただいております。

集まった寄付金は、“つなぐ”を共通テーマに、「家族」「未来」「命」「夢」という 4 つの分野のチャリティ活動に充てていく予定です。今回の緊急支援については、当初予定している支援活動に記載されたものではありませんが、寄付金を迅速かつ有効に活用することは、スポーツを通じてチャリティの想いを“つなぐ”という基本理念に違ふことなく、ご支援いただいた方々のご理解を得られると確信し、本日急遽拠出を決定しました。

また、クライストチャーチは、地震発生時に陸上日本女子長距離選手らの合宿も行われており、これまでも高地合宿地として現地の方々にご協力をいただくなど、日本陸上界にとっても非常に由縁のある都市でもあります。そのような都市での災害に、スポーツを通して集められた寄付金で支援させていただく意義もあると考えています。

現地の方々も先の見えない不安な日々を過ごされていることと思います。  
早急な災害対応と、少しでも早い復興支援に、寄付金が一助をなれることを祈願いたします。